



21年次の進路決定状況報告

○国公立大学の全日程の結果が判明しました！

先日本校を巣立っていった21年次の受験生たちの進路先が決定しましたので、お知らせいたします。国公立大学へは全部で13名合格しました。総合型選抜1、共テなしの学校推薦型選抜で4、共テありの学校推薦型選抜で2、前期日程で4、後期日程で2という内訳でした。1月に行われた共通テストの後、毎日夜遅くまで教室に残って必死で学習する姿を見ていたので、その努力が報われた人は本当に良かったと思います。多くの同級生たちが家庭学習期間に入り、新生活の準備や自動車学校等に通う中、自分の目標を見失わずに最後までしっかりと頑張った姿は誇らしいと思います。長い受験期間の中、特に後期日程迄頑張った人たちは、今は心の底から、ホッとしていることと思います。ご苦労様でした。また、過年度卒の先輩方からも国立2、公立1の合格の報告を聞いており、1年間の努力が報われたことを非常に嬉しく思っています。21年次生たちのこの3年間の3分の2は、コロナに振り回されましたが、目標に向かって前を向き続け、本当に一生懸命努力した年であったと思います。4月からは高校生活で学んだことや経験したことを基に、高い志を持って未来へ羽ばたいて欲しいと思います。

★3年生の進路決定状況

	進学内定者（実進学者数）				就職内定者等			
	4年制大学	短期大学	看護 学校	専門 各種学校	公務員	民間企業		その他
		県内				県外		
国立	7	0						
公立	4	2						
私立	125	7						
小計	136	9	10	20	2	5	0	10
合計	175				17			

＜国公立大学合格状況＞ 北見工大1 室蘭工大1 山形大1 福島大3 茨城大2 釧路公立大学1
 （過年度3含む） 青森公立大1 宮城大1
 福島県立医大2 群馬県立女子大1 前橋工科大学1 群馬大学1

○令和5年度の進路先決定概況について

＜進学＞: **総合型選抜と推薦入試で全体の65%が決定!**

①4年制大学（136名）～一般入試で49名（延べ188名）が合格!～

本校は毎年約130～140名前後の大学進学者がいますが、おおよそ60%が文系学部、15%が理系学部、20%が医療系、10%がその他（芸術・体育系）となっています。大学合格者の136名のうち、その約65%強が推薦及び総合型選抜による合格であり、一般入試での合格者は35%程度です。入試は10月に行われる総合型選抜に始まり、11月の推薦入試、そして1月の共通テストを経ての2月の国公立前期二次試験及び私立大入試、3月の国公立後期日程へと続きます。最近是一般入試を避けて総合型選抜や学校推薦型選抜が中心になっているという高校が増えており、本校もその例外ではありません。しかし、一般入試で合格した生徒に比べて基礎学力不足は否めないというのが現状です。おそらく入学後に実感する自身の学力不足……。感じたら、すぐに学び直しをしましょう。受験で用いた参考書や辞書は、学び直しには不可欠です。是非、忘れずに持っていきましょう。

②短期大学（9名）～公立の短期大学は編入希望の生徒の進学先としても一考あり!～

短大合格内定者9名中、保育士を目指す生徒が6名、情報を学ぶ生徒が1名、歴史・社会を学ぶ生徒が2名となっています。一般的に保育士や幼稚園教諭、栄養士を目指す人が多く、進学の内容は女子のイメージがありますが、最近では男子も増えています。最初から大学への編入を目指す人も増えており、特に国公立大学への編入実績の高い短大を併願するという選択肢もあります。

ので覚えておいてください。また、医療系の学科（看護・臨床検査・理学・作業等）に関しては専門学校と同じ3年制課程になっております。4年制大学に進学した場合よりも1年早く資格取得ができますが、カリキュラムはかなりきつと言われていまして、全体的には4年制へ移行する流れになっています。

③看護学校（10名）～やはり地元の医療センター看護専門学校が人気の中心！～

今年度はいわき市医療センター看護専門学校（旧共立高看）で7名（公募推薦4名、一般入試3名）、横浜労災高等看護専門学校（推薦1名）、千葉労災高等看護専門学校（推薦1名）、晃陽看護栄養専門学校となっています。特にいわき市医療センター看護専門学校は自宅から通うことができ、授業料も安いので、いわき市内の高校生で看護学校を希望する生徒の大半が目指しています。一般入試の科目は、国数英の3科目の他に小論文や面接も加わります。推薦入試も一般入試も英語がキーポイントになっています。



④専修学校・各種学校等～2年制でも学費は割高の傾向あり！～

今年度は20名の合格者のうち、15名が総合型選抜で、4名が学校推薦型選抜での合格であり、一般入試での合格は1名に過ぎません。その多くが2年制の学校ですが、学費の面では4年制大学と比べ、単純に半額という訳ではなく、むしろ年度毎の費用は割高になっています。資格取得を目的とした学びをする場所ですから、まずはその資格の合格率や、卒業後の就職状況をしっかりと見極めましょう。派手な宣伝に惑わされず、堅実に学ぶことのできる学校をお勧めします。首都圏に行かなくても、自宅から通うことのできる素晴らしい学校もあります。



<就職>：公務員は7月～8月に出願し、試験が9月より。民間企業は7月1日～求人票公開、試験は9月16日より。

⑤公務員～今年は2名+1名が内定！～

今年は公務員に2名合格しました。1名は福島県の学校事務員として、もう1名は埼玉県の検察庁職員としての内定です。よく頑張ったと思います。公務員の対策は早期に始めるのが理想ですが、集中して取り組めば短期でも実力を養成することができます。いわき市駅前周辺には、公務員の無料セミナーや短期集中のコース等を開講しているいわゆる公務員予備校もあり、上手に活用することも大切です。基本的に自分でコツコツ進めることができないと難しいです。また、分類上は専修学校の方に含めましたが、海上保安学校にも1名合格しております。給料を貰いながら学ぶので、学生でありながら海上保安庁の職員としての身分があります。イメージとしては防衛大学校等の学生と同じような感じですね。



⑥民間企業～夏休み中が勝負です！職場見学は必須！～

本校の就職希望者は5人でしたが、皆自分のやりたいことにこだわって求職していたように思います。コロナ禍の状況下でしたが、企業調べや見学や面接練習に毎日一生懸命取り組んでいました。次年度以降の求人はコロナの影響は少なくなるであろうと期待していますが、就職を考えている人は早い段階で職種を決めて実際にどのような企業があるのか自分で研究することが必要です。主に夏休み中（7～8月）に忙しく動き回ることになるでしょう。



○一般入試への取り組み方について～泥臭く、強い信念を持っている人が強い！？～

1月の共通テスト以降、多くの人たちが国公立大学の個別試験や私立大学の一般入試に臨んでいます。大学によって出題形式は異なり、それまでの中心だった共通テスト対策から切り替えて、大学ごとの対策をしなければなりません。赤本を借りて何度も進路指導室を訪れる姿をたくさん見てきました。また先ほども述べましたが、毎日朝から晩まで教室で死に物狂いで取り組んでいる受験生の姿がとても印象的でした。教室の壁という壁に単語を書いた紙を張り巡らしたり、使っていないホワイトボードを持ち込んで、びっしり古典の文法を書き込んだり、数学の公式を大きく描いたりしながら、さながら受験部屋のように改造？していました。何だか30年以上前の昭和の受験生の雰囲気でしたので、その泥臭く学ぶ姿勢に何となく共感を覚えました。

現在はいろいろな学習方法がありますが、ちょっとアナログ的ではありますが、このような方法もまだまだありだなあと感じています。その効果もあったのか、今回はE判定からの逆転で2人合格しましたし、やっぱり最後はぶれない信念があると勝てるのになって思いました。次年度の新3年生も是非参考にしてもらえたらと思います。先輩方の数々の奮闘記は5月中旬以降に配布される「進路のてびき」に掲載されますので、そちらを読んでいただければと思います。また、そのような先輩たちにきてもらって体験談や成功談・失敗談をしてもらう催しも行いたいと考えています。さてさて皆さんはどのように受験勉強するのでしょうか？



次回予告 第19号（R6年度初号）は新年度スタート号として、21生の卒業生の進学先の一覧を掲載します。また、1年間の進路指導の流れについても提示します。発行は4月10日前後を予定しています。